

R4年度市民自治推進会議関連スケジュール

| No. | 会議等 | 日 程 | 内 容 |
|-----|-------------------------------------|------------|--|
| 1 | 500人アンケートの送付 | 令和4年4月5日発送 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民500人を対象に無作為抽出で作成、4月早々に送付した。 ・回答期間 4月24日(日)まで |
| 2 | R4年度第1回市民自治推進会議 | 令和4年6月30日 | <ul style="list-style-type: none"> ・諮問 ・市民自治の取組状況(令和3年度分)について ・苫小牧市民参加条例の施行に関する市民からの要望について(令和3年度分) ・民間企業との連携協定の締結状況(令和3年度分) ・自治基本条例の見直しについて <ul style="list-style-type: none"> → 今年度内に検討 スケジュール説明 500人アンケート結果説明 ・市民自治セミナーの周知 |
| 3 | 市民自治セミナー(市民対象) 「協働によるまちづくりとSDGs」 | 令和4年7月31日 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民が参加して実施する(希望者 20名程度) ※講師は溝渕清彦氏の予定 ※内容 ・自治基本条例の説明 ※苫小牧市が実施 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの基礎知識及びまちづくりへの関わりを学ぶ ・講義を踏まえ、課題の解決策を協働の観点から考えていくワークショップ |
| 4 | R4年度第2回市民自治推進会議 | 令和4年9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例の見直しについて ・市民自治セミナーの結果説明 |
| 5 | R4年度第3回市民自治推進会議 | 令和4年11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例の見直しについて(第2回の続き) ・条文の改正案検討 ・制度上の見直しや運用上の改善点の提言案検討 |
| 6 | R4年度第4回市民自治推進会議 | 令和5年2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例の見直しについて(提言書の内容確認) |
| 7 | 答申 | 令和5年3月 | <ul style="list-style-type: none"> ※委員は会長と副会長のみ |

令和 4 年度 自治基本条例の見直しに関する情報提供

協働・男女平等参画室

本資料は、4 年に一度の自治基本条例の見直しに際して、社会情勢の変化や、法律の変更等に伴い、職員目線での課題等を提示するものです。

審議会の議論を深める一助になれば幸いです。

1 個人情報保護制度の変更について（自治基本条例第 24 条関連）

自治体における個人情報の取扱いについて、個人情報保護条例に基づいて運用を行っておりましたが、令和 5 年 4 月 1 日から、個人情報保護法に基づいた運用に変更となります。

そのため、苫小牧市自治基本条例の第 24 条について、修正を行う必要がございます。

個人情報保護に関しては総務部法務文書課が担当となっており、法務文書課と相談し、改正案を審議会に提示し、進めていきます。

2 市民参加について（自治基本条例第 5 条関連）

苫小牧市自治基本条例の第 5 条にて、市民参加に関するものを「苫小牧市市民参加条例」に定めて制度を運用しております。

市民参加条例の第 4 条第 2 項「政策形成手続き」と呼ばれる、対面での市民参加の手続きについて、審議会、意見交換会等の手法があります。

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大防止により、参加を見送った市民もいるのではと想定しており、そういった市民が参加できる手法を検討しております。

非対面での審議会や住民説明会の WEB 開催等が手法として考えられるのではと想定しておりますが、ご審議いただけましたら幸いです。

3 企業との連携協定について（自治基本条例第 7 条関連）

苫小牧市では行政だけでは解決が難しい課題に対応するため、企業、団体等と連携協定を締結し、協働のまちづくりを進めています。

しかしながら、連携協定締結後の活動の有無について、年一度実績調査を行っておりますが、実績がない団体等がございます。

そういった団体への働きかけについて、ご審議いただけましたら幸いです。

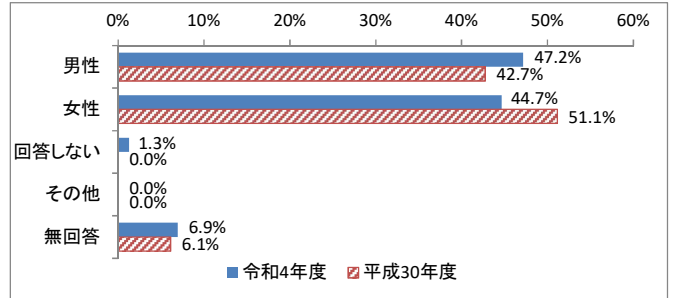
「市民自治のまちづくりに関するアンケート調査票」前回との比較

令和4年5月17日
総合政策部協働・男女平等参画

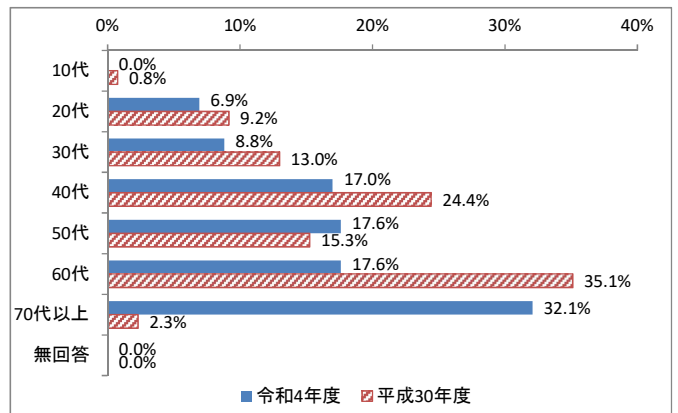
回答数：500名のうち159名(回答率31.8%)
調査期間：令和4年4月5日～令和4年4月24日

【問1】あなた（回答者）について

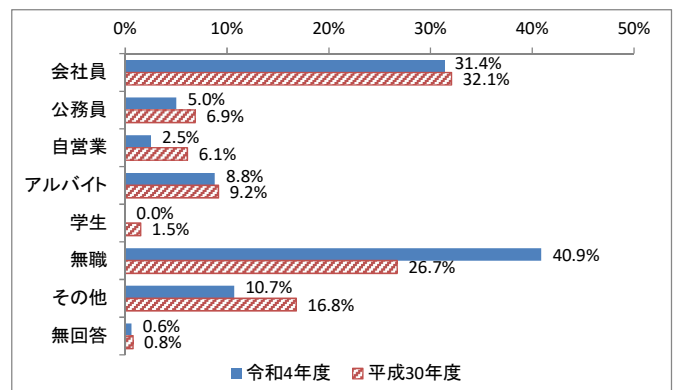
| 性別 | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 男性 | 75 | 47.2% | 56 | 42.7% |
| 女性 | 71 | 44.7% | 67 | 51.1% |
| 回答しない | 2 | 1.3% | - | - |
| その他 | 0 | 0.0% | - | - |
| 無回答 | 11 | 6.9% | 8 | 6.1% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 131 | 100.0% |



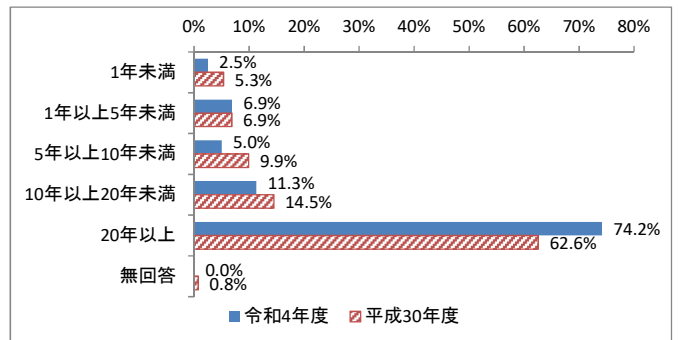
| 年齢 | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 10代 | 0 | 0.0% | 1 | 0.8% |
| 20代 | 11 | 6.9% | 12 | 9.2% |
| 30代 | 14 | 8.8% | 17 | 13.0% |
| 40代 | 27 | 17.0% | 32 | 24.4% |
| 50代 | 28 | 17.6% | 20 | 15.3% |
| 60代 | 28 | 17.6% | 46 | 35.1% |
| 70代以上 | 51 | 32.1% | 3 | 2.3% |
| 無回答 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 131 | 100.0% |



| 職業 | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 会社員 | 50 | 31.4% | 42 | 32.1% |
| 公務員 | 8 | 5.0% | 9 | 6.9% |
| 自営業 | 4 | 2.5% | 8 | 6.1% |
| アルバイト | 14 | 8.8% | 12 | 9.2% |
| 学生 | 0 | 0.0% | 2 | 1.5% |
| 無職 | 65 | 40.9% | 35 | 26.7% |
| その他 | 17 | 10.7% | 22 | 16.8% |
| 無回答 | 1 | 0.6% | 1 | 0.8% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 131 | 100.0% |



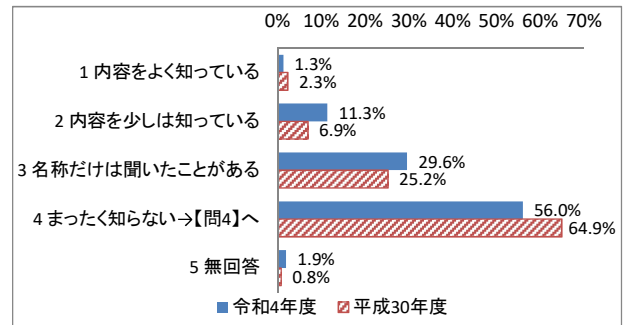
| 居住年数 | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1年未満 | 4 | 2.5% | 7 | 5.3% |
| 1年以上5年未満 | 11 | 6.9% | 9 | 6.9% |
| 5年以上10年未満 | 8 | 5.0% | 13 | 9.9% |
| 10年以上20年未満 | 18 | 11.3% | 19 | 14.5% |
| 20年以上 | 118 | 74.2% | 82 | 62.6% |
| 無回答 | 0 | 0.0% | 1 | 0.8% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 131 | 100.0% |



《自治基本条例について》

【問2】 「苫小牧市自治基本条例」を知っていますか。

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|------------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 内容をよく知っている | 2 | 1.3% | 3 | 2.3% |
| 2 内容を少しは知っている | 18 | 11.3% | 9 | 6.9% |
| 3 名称だけは聞いたことがある | 47 | 29.6% | 33 | 25.2% |
| 4 まったく知らない→【問4】へ | 89 | 56.0% | 85 | 64.9% |
| 5 無回答 | 3 | 1.9% | 1 | 0.8% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 131 | 100.0% |

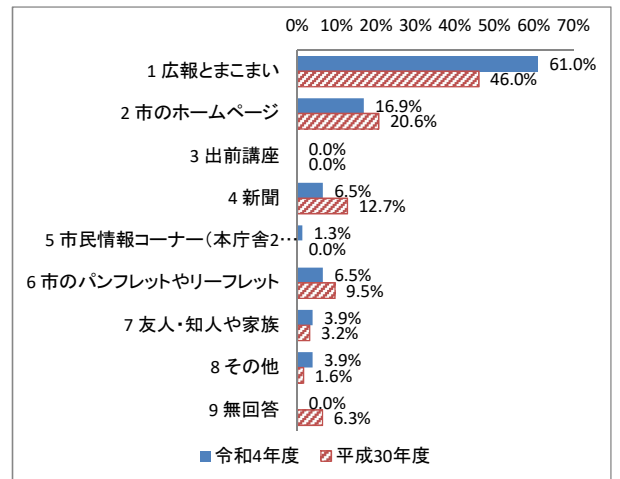


○前回との比較

「内容を少しは知っている」「名称だけは聞いたことがある」が増加しました。「まったく知らない」は減少しましたが、依然として、条例の認知度は低い結果となりました。

【問3】 「苫小牧市自治基本条例」を何から知りましたか。（複数回答可）

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|----------------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 広報とまこまい | 47 | 61.0% | 29 | 46.0% |
| 2 市のホームページ | 13 | 16.9% | 13 | 20.6% |
| 3 出前講座 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 4 新聞 | 5 | 6.5% | 8 | 12.7% |
| 5 市民情報コーナー（本庁舎2階談話室） | 1 | 1.3% | 0 | 0.0% |
| 6 市のパンフレットやリーフレット | 5 | 6.5% | 6 | 9.5% |
| 7 友人・知人や家族 | 3 | 3.9% | 2 | 3.2% |
| 8 その他 | 3 | 3.9% | 1 | 1.6% |
| 9 無回答 | 0 | 0.0% | 4 | 6.3% |
| 総計 | 77 | 100.0% | 63 | 100.0% |



【問3】 その他の回答

・職場

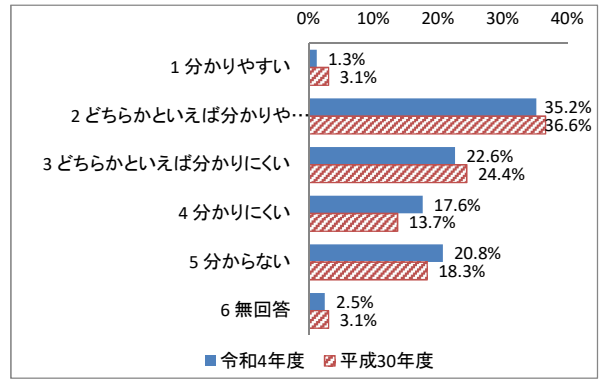
○前回との比較

前回と同様に一番多いのは「広報とまこまい」ですが、前回よりも割合が高くなり、6割以上となりました。また、「市のホームページ」や「新聞」から知った方が減少しました。

《情報共有について》

【問4】 苫小牧市が発信している情報が分かりやすいと思いますか。

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|------------------|-------|--------|--------|-------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 分かりやすい | 2 | 1.3% | 4 | 3.1% |
| 2 どちらかといえば分かりやすい | 56 | 35.2% | 48 | 36.6% |
| 3 どちらかといえば分かりにくい | 36 | 22.6% | 32 | 24.4% |
| 4 分かりにくい | 28 | 17.6% | 18 | 13.7% |
| 5 分からない | 33 | 20.8% | 24 | 18.3% |
| 6 無回答 | 4 | 2.5% | 4 | 3.1% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 130 | 99.2% |



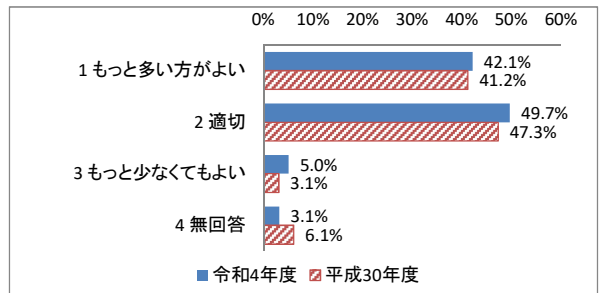
※平成30年度「その他」1件（0.8%）あり。

○前回との比較

全体的に、前回から大きく割合は変化してはませんが、市からの情報が「分かりにくい」と感じている市民がやや増加する結果となりました。

【問5】 苫小牧市が発信している情報の量についてどう感じますか。

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|--------------|-------|--------|--------|-------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 もっと多い方がよい | 67 | 42.1% | 54 | 41.2% |
| 2 適切 | 79 | 49.7% | 62 | 47.3% |
| 3 もっと少なくてもよい | 8 | 5.0% | 4 | 3.1% |
| 4 無回答 | 5 | 3.1% | 8 | 6.1% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 128 | 97.7% |



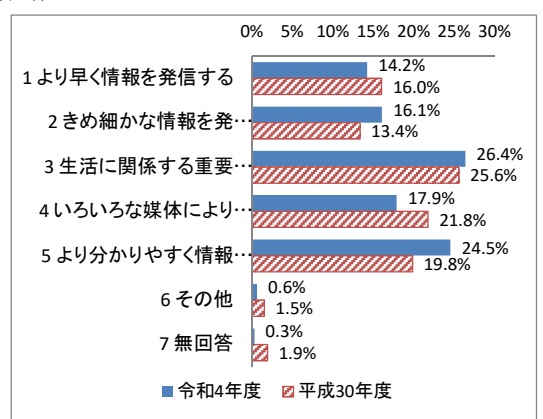
※平成30年度「その他」3件（2.3%）あり。

○前回との比較

「もっと多い方がよい」は、ほぼ変わらない結果でしたが、「適切」「もっと少なくてもよい」がやや増加しました。

【問6】 効果的に情報を発信していくために何が必要だと思いますか。（複数回答可）

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|-------------------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 より早く情報を発信する | 47 | 14.2% | 42 | 16.0% |
| 2 きめ細かな情報を発信する | 53 | 16.1% | 35 | 13.4% |
| 3 生活に関係する重要な情報を選別して発信する | 87 | 26.4% | 67 | 25.6% |
| 4 いろいろな媒体により情報を発信する | 59 | 17.9% | 57 | 21.8% |
| 5 より分かりやすく情報を発信する | 81 | 24.5% | 52 | 19.8% |
| 6 その他 | 2 | 0.6% | 4 | 1.5% |
| 7 無回答 | 1 | 0.3% | 5 | 1.9% |
| 総計 | 330 | 100.0% | 262 | 100.0% |



【問6】 その他の回答

- ・目に付きやすくする。
- ・とまチョップをもっと前面に。

○前回との比較

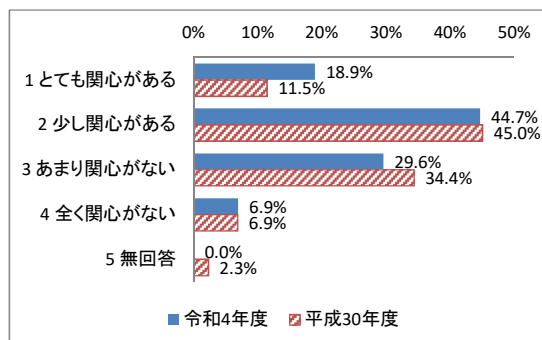
前回と同様に「生活に関係する重要な情報を選別して発信する」が、もっとも割合が高く、「より分かりやすく情報を発信する」が増加しました。

効果的な情報発信は、情報の選別と分かりやすさを重視する傾向が見られました。

《市政への市民参加について》

【問7】 苫小牧市の市政に関心がありますか。

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 とても関心がある | 30 | 18.9% | 15 | 11.5% |
| 2 少し関心がある | 71 | 44.7% | 59 | 45.0% |
| 3 あまり関心がない | 47 | 29.6% | 45 | 34.4% |
| 4 全く関心がない | 11 | 6.9% | 9 | 6.9% |
| 5 無回答 | 0 | 0.0% | 3 | 2.3% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 131 | 100.0% |



○前回との比較

「とても関心がある」が増加し、「あまり関心がない」が減少しました。前回よりも、市政に関心がある市民が増加する結果となりました。

【問8】 市政に参加したことがありますか。（複数回答可）

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | | |
|---------------------------------------|-------|--------|--------|--------|-----------------------------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 | |
| 1 市が主催する住民説明会、意見交換会等への参加 | 8 | 4.5% | 10 | 6.8% | 1 市が主催する住民… 4.5% 6.8% |
| 2 市政に関連した公開討論会、市民フォーラム、シンポジウムへの参加 | 3 | 1.7% | 6 | 4.1% | 2 市政に関連した公… 1.7% 4.1% |
| 3 ワークショップ、ワールドカフェ等による意見交換 | 2 | 1.1% | 1 | 0.7% | 3 ワークショップ、ワー… 1.1% 0.7% |
| 4 まちかどミーティング、まちづくりトーク、ふれあいミーティング等への参加 | 5 | 2.8% | 4 | 2.7% | 4 まちかどミーティン… 2.8% 2.7% |
| 5 審議会、委員会等の委員として参加 | 2 | 1.1% | 2 | 1.4% | 5 審議会、委員会等… 1.1% 1.4% |
| 6 市議会、審議会の傍聴（インターネット中継を含む） | 7 | 4.0% | 3 | 2.0% | 6 市議会、審議会の… 4.0% 2.0% |
| 7 来庁や電話、電子メール、FAX、手紙での提言・要望等の意見提出 | 4 | 2.3% | 6 | 4.1% | 7 来庁や電話、電子… 2.3% 4.1% |
| 8 みんなの意見箱とま★ポによる意見提出 | 2 | 1.1% | 2 | 1.4% | 8 みんなの意見箱とま… 1.1% 1.4% |
| 9 市民からの意見の募集（パブリックコメント）による意見提出 | 1 | 0.6% | 2 | 1.4% | 9 市民からの意見の… 0.6% 1.4% |
| 10 市が実施するアンケート調査に回答（本アンケート以外） | 21 | 11.9% | 13 | 8.8% | 10 市が実施するアン… 11.9% 8.8% |
| 11 とまモニ（苫小牧市市政モニター）への登録 | 0 | 0.0% | - | - | 11 とまモニ（苫小牧市… 0.0% 0.0% |
| 12 その他 | 2 | 1.1% | 1 | 0.7% | 12 その他 1.1% 0.7% |
| 13 参加したことがない | 120 | 67.8% | 95 | 64.2% | 13 参加したことがない 67.8% 64.2% |
| 14 無回答 | 0 | 0.0% | 3 | 2.0% | 14 無回答 0.0% 2.0% |
| 総計 | 177 | 100.0% | 148 | 100.0% | |

【問8】 その他の回答

・市議会議員に提案。

●まちかどミーティング、まちづくりトーク、ふれあいミーティング等への参加

※まちかどミーティング～市長が町内会へ出向いて地域の課題や要望についての意見交換を行う

まちづくりトーク～広く人が集まる施設などで、市民と市長が、まちづくりをテーマに意見交換を行う

ふれあいミーティング～市長が各種団体や市民グループに、団体の活動内容や課題などを通じて、広くまちづくりのアイデアを伺う

●審議会、委員会等の委員として参加

※学職経験者や市民活動団体からの推薦委員、公募市民などから構成された委員が、市政に関することについて議論等を行う

●みんなの意見箱とま★ポによる意見提出

※市政に関する意見を自由に記載し、みんなの意見箱とま★ポ（市内10ヶ所に設置）へ投函する

●市民からの意見の募集（パブリックコメント）による意見提出

※市が作成した条例、計画等の素案に対し、書面により意見を提出する

●とまモニ（苫小牧市市政モニター）への登録

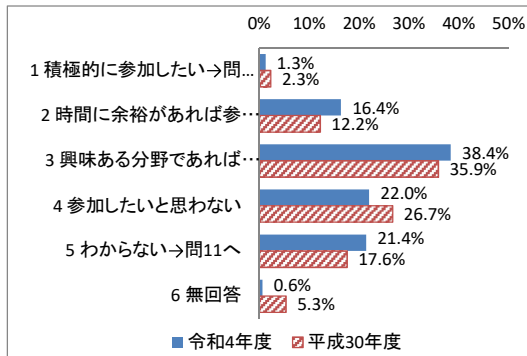
※苫小牧市が運営する登録制のアンケート制度。年5回程度アンケートを実施している。

○前回との比較

前回と同様「参加したことがない」の割合がもっとも高く、その割合は、前回よりもやや高くなり、7割弱となりました。

【問9】 今後（も）、市政に参加したいと思いますか。

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|------------------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 積極的に参加したい→問11へ | 2 | 1.3% | 3 | 2.3% |
| 2 時間に余裕があれば参加したい→問11へ | 26 | 16.4% | 16 | 12.2% |
| 3 興味ある分野であれば参加したい→問11へ | 61 | 38.4% | 47 | 35.9% |
| 4 参加したいと思わない | 35 | 22.0% | 35 | 26.7% |
| 5 わからない→問11へ | 34 | 21.4% | 23 | 17.6% |
| 6 無回答 | 1 | 0.6% | 7 | 5.3% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 131 | 100.0% |

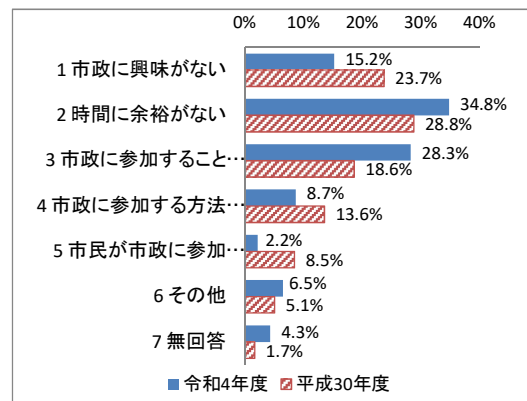


○前回との比較

「時間に余裕があれば参加したい」「興味ある分野であれば参加したい」が増加し、「参加したいと思わない」が減少しました。特に「興味ある分野であれば参加したい」は、前回と同様にもっとも高い割合となりました。

【問10】 問9で「4 参加したいと思わない」を選択した方その理由は何ですか。（複数回答可）

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|--------------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 市政に興味がない | 7 | 15.2% | 14 | 23.7% |
| 2 時間に余裕がない | 16 | 34.8% | 17 | 28.8% |
| 3 市政に参加することは面倒だから | 13 | 28.3% | 11 | 18.6% |
| 4 市政に参加する方法がわからない | 4 | 8.7% | 8 | 13.6% |
| 5 市民が市政に参加する必要性がない | 1 | 2.2% | 5 | 8.5% |
| 6 その他 | 3 | 6.5% | 3 | 5.1% |
| 7 無回答 | 2 | 4.3% | 1 | 1.7% |
| 総計 | 46 | 100.0% | 59 | 100.0% |



【問10】 その他の回答

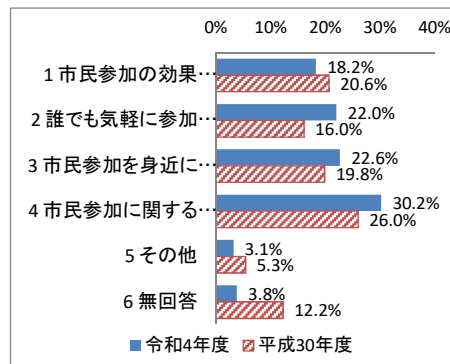
- ・高齢の為、身体が不自由であるので、行動面での参加は無理である。
- ・参加する意味がわからない。
- ・身体上の都合。

○前回との比較

「市政に興味がない」「市政に参加する方法がわからない」「市民が市政に参加する必要性がない」が減少しました。前回より「市政に参加することは面倒だから」は大幅に増加しましたが、もっとも高い割合となったのは、前回と同様に「時間に余裕がない」との結果になりました。

【問11】 市民が市政に参加しやすくなるために何が必要だと思いますか。

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|-------------------------------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 市民参加の効果が実感できるようにする(意見が反映された事例紹介等) | 29 | 18.2% | 27 | 20.6% |
| 2 誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加機会を調整する | 35 | 22.0% | 21 | 16.0% |
| 3 市民参加を身近に感じられるようにする(市民参加の手法の紹介等) | 36 | 22.6% | 26 | 19.8% |
| 4 市民参加に関する情報を分かりやすく簡単に入手できるようにする | 48 | 30.2% | 34 | 26.0% |
| 5 その他 | 5 | 3.1% | 7 | 5.3% |
| 6 無回答 | 6 | 3.8% | 16 | 12.2% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 131 | 100.0% |



【問11】 その他の回答

- ・わからない(外1件)。
- ・そもそも何をどんなふうに行っているか知らない。
- ・市の担当職員(市長・部長以下)が各町内会の会議や役員会に出向き、地域の問題点やお願い事などの聴き取りなどを、1年～3年に1度位は率先して、参加する事も必要では。
- ・参加したくない人によく質問しますね。

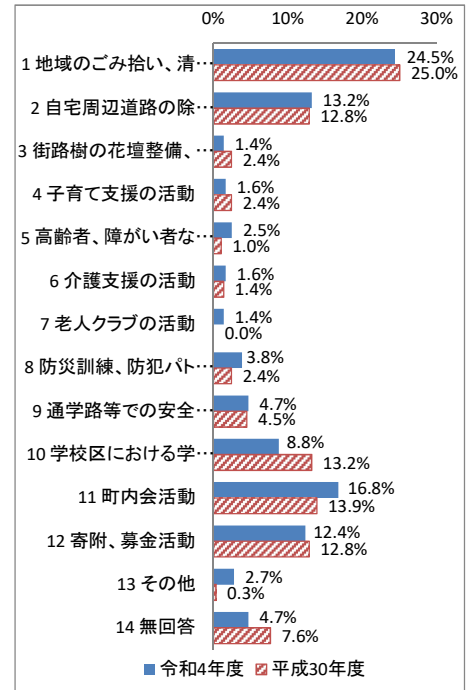
○前回との比較

「誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加機会を調整する」「市民参加を身近に感じられるようにする」「市民参加に関する情報を分かりやすく簡単に入手できるようにする」が、前回よりそれぞれ増加しました。
市民参加がしやすくなるためには、「気軽に参加できる」「身近に感じられる」「分かりやすい情報」が必要と考える市民が多い結果となりました。

《地域のまちづくりについて》

【問12】地域のまちづくりに参加したことがありますか。（複数回答可）

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|------------------------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 地域のごみ拾い、清掃活動 | 89 | 24.5% | 72 | 25.0% |
| 2 自宅周辺道路の除雪や凍結道路への砂まき | 48 | 13.2% | 37 | 12.8% |
| 3 街路樹の花壇整備、道路への植栽 | 5 | 1.4% | 7 | 2.4% |
| 4 子育て支援の活動 | 6 | 1.6% | 7 | 2.4% |
| 5 高齢者、障がい者などの安否確認、見守り活動 | 9 | 2.5% | 3 | 1.0% |
| 6 介護支援の活動 | 6 | 1.6% | 4 | 1.4% |
| 7 老人クラブの活動 | 5 | 1.4% | 0 | 0.0% |
| 8 防災訓練、防犯パトロール | 14 | 3.8% | 7 | 2.4% |
| 9 通学路等での安全確認、交通安全啓発活動 | 17 | 4.7% | 13 | 4.5% |
| 10 学校区における学校活動への協力（PTA、校区連等） | 32 | 8.8% | 38 | 13.2% |
| 11 町内会活動 | 61 | 16.8% | 40 | 13.9% |
| 12 寄附、募金活動 | 45 | 12.4% | 37 | 12.8% |
| 13 その他 | 10 | 2.7% | 1 | 0.3% |
| 14 無回答 | 17 | 4.7% | 22 | 7.6% |
| 総計 | 364 | 100.0% | 288 | 100.0% |



【問12】その他の回答

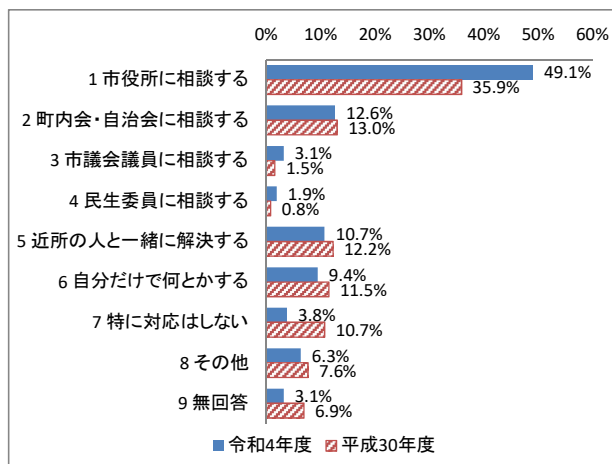
- ・特になし（外6件）。
- ・ない。PTAはいらないと思う。時代に合っていない！
- ・猫の死体発見時の市役所への連絡。

○前回との比較

前は「地域のごみ拾い、清掃活動」「町内会活動」「学校区における学校活動への協力」の順に高くなっていましたが、今回は「学校区における学校活動への協力」が減少し、「自宅周辺道路の除雪や凍結道路への砂まき」が3番目に高い割合となりました。

【問13】 地域や身の回りで問題が起こったときにどのように対応しますか。

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|----------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 市役所に相談する | 78 | 49.1% | 47 | 35.9% |
| 2 町内会・自治会に相談する | 20 | 12.6% | 17 | 13.0% |
| 3 市議会議員に相談する | 5 | 3.1% | 2 | 1.5% |
| 4 民生委員に相談する | 3 | 1.9% | 1 | 0.8% |
| 5 近所の人と一緒に解決する | 17 | 10.7% | 16 | 12.2% |
| 6 自分だけで何とかする | 15 | 9.4% | 15 | 11.5% |
| 7 特に対応はしない | 6 | 3.8% | 14 | 10.7% |
| 8 その他 | 10 | 6.3% | 10 | 7.6% |
| 9 無回答 | 5 | 3.1% | 9 | 6.9% |
| 総計 | 159 | 100.0% | 131 | 100.0% |



【問13】 その他の回答

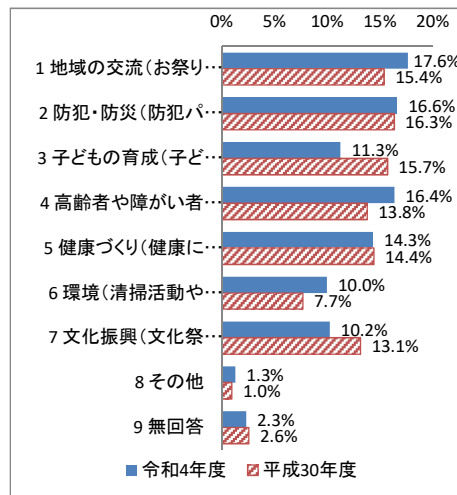
- ・市役所又は地域包括支援センターに相談する。
- ・警察に相談する(アドバイス場所を適正に教えてくれると思うので)。
- ・状況による。
- ・問題によるのでわからない。
- ・問の意味がわかりません。
- ・家族と相談して対応検討。
- ・問題に適する所へ相談する。
- ・親族に相談する。
- ・市役所に相談したが対応が悪過ぎて、今後は特に対応はしない。
- ・職場又は管理人等に連絡する。

○前回との比較

前回と同様「市役所に相談する」「町内会・自治会に相談する」「近所の人と一緒に解決する」の順に割合が高くなりましたが、「市役所に相談する」の割合が大幅に増加し、約半数を占める結果となりました。

【問14】地域まちづくりの活動で関心のある分野は何ですか。（3つだけ回答）

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|-----------------------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 地域の交流（お祭りや運動会など） | 69 | 17.6% | 48 | 15.4% |
| 2 防犯・防災（防犯パトロールや防災訓練など） | 65 | 16.6% | 51 | 16.3% |
| 3 子どもの育成（子どもとの交流、子育て支援など） | 44 | 11.3% | 49 | 15.7% |
| 4 高齢者や障がい者の福祉（安否確認、見守り活動など） | 64 | 16.4% | 43 | 13.8% |
| 5 健康づくり（健康に関するセミナーや講習会など） | 56 | 14.3% | 45 | 14.4% |
| 6 環境（清掃活動や花壇整備など） | 39 | 10.0% | 24 | 7.7% |
| 7 文化振興（文化祭や音楽の公演など） | 40 | 10.2% | 41 | 13.1% |
| 8 その他 | 5 | 1.3% | 3 | 1.0% |
| 9 無回答 | 9 | 2.3% | 8 | 2.6% |
| 総計 | 391 | 100.0% | 312 | 100.0% |



【問14】その他の回答

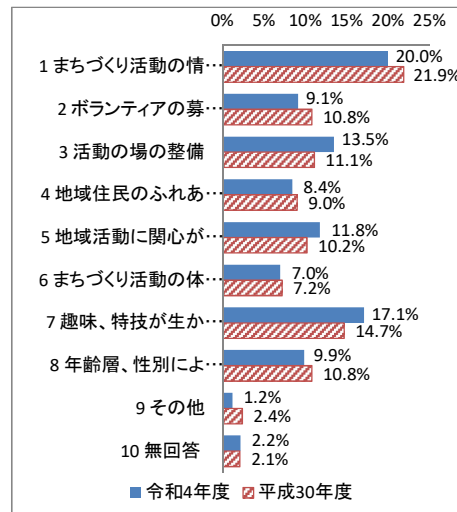
- ・特になし（外1件）。
- ・苫小牧駅前環境整備。
- ・関心がない。

○前回との比較

「地域の交流」「高齢者や障がい者の福祉」「環境」が増加し、「子どもの育成」「文化振興」が減少、「防犯・防災」「健康づくり」は、ほぼ変わらない結果となりました。

【問15】まちづくり活動を進めるために何が必要だと思いますか。（3つだけ回答）

| | 令和4年度 | | 平成30年度 | |
|-----------------------------------|-------|--------|--------|--------|
| | 集計 | 割合 | 集計 | 割合 |
| 1 まちづくり活動の情報提供 | 83 | 20.0% | 73 | 21.9% |
| 2 ボランティアの募集、イベントの開催情報の提供 | 38 | 9.1% | 36 | 10.8% |
| 3 活動の場の整備 | 56 | 13.5% | 37 | 11.1% |
| 4 地域住民のふれあいサロン、仲間づくり交流会、親睦会等の情報提供 | 35 | 8.4% | 30 | 9.0% |
| 5 地域活動に関心がある人たちのための情報交換、交流の機会の提供 | 49 | 11.8% | 34 | 10.2% |
| 6 まちづくり活動の体験会、研修等の機会の提供 | 29 | 7.0% | 24 | 7.2% |
| 7 趣味、特技が生かせる活動の紹介 | 71 | 17.1% | 49 | 14.7% |
| 8 年齢層、性別による活動団体のマッチング | 41 | 9.9% | 36 | 10.8% |
| 9 その他 | 5 | 1.2% | 8 | 2.4% |
| 10 無回答 | 9 | 2.2% | 7 | 2.1% |
| 総計 | 416 | 100.0% | 334 | 100.0% |



【問15】その他の回答

- ・わからない。
- ・特になし（外1件）。
- ・治安維持。

○前回との比較

「活動の場の整備」「地域活動に関心がある人たちのための情報交換、交流の機会の提供」「趣味、特技が生かせる活動の紹介」がやや増加しました。「まちづくり活動の情報提供」はやや減少しましたが、前回と同様、もっとも高い割合となりました。